



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その101 100回記念レア安藤建築 4

西宮市にある「善教寺納骨堂」で、安藤忠雄設計、2022年の完成です。内部は、中央に祈りの場が設けられ、その左右に納骨のスペースがあるという単純な構成ですが、外観は、長手面の上部が反り返り、短手面は中央が凹むという複雑な形態になっています。建築工事の入札に当たり檀家の工務店数軒が手を挙げたものの、図面を見て匙を投げたそうです。

CURRENTLY WORKS



「名古屋市立大学医学部」の歴史を記録する銘板

名古屋市立大学医学部において、医学部同窓会から功績のあった方々に贈られる「瑞友会賞」の銘板です。毎年数名の方に贈られ、その方々の御名前をガラス色アクリルにシート貼りして、順次追加掲示しています。2007年から始まり、今年で18回を迎えますが、毎年増えて行くことが「医学部」の歴史であり「名古屋市立大学病院」の歴史になっています。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その21

この「渉成園」は京都の東本願寺の飛地境内地(別邸)です。宣如上人が徳川家光から土地の寄進を受け、そこから始まったそうです。広大な敷地の中に池、茶室、供養塔など様々な景物が配してあります。また、お茶会展示会、ドラマや映画のロケなどいろんな世代に幅広く活用されており仏寺庭園として国の名勝にも指定されています。紅葉の季節もおすすめです。

EDITORIAL NOTE

12月22日頃には昼が最も短い「冬至」が訪れます。この日は翌日から昼がだんだん長くなることから「一陽来復」と言われており上昇運に転じる日とされています。ですが寒さはさらに厳しくなるので「柚子湯」に入ると、風邪をひかずに元気で冬を越せると言われています。良い年をお迎えください。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島